

## 学校と地域の交流について

### 1. 地域交流の意義について

子どもたちの学校での活動に地域住民が適切に関わっていくことは、「学校、家庭、地域が連携協力して子どもたちを育てる教育環境づくり」の実現につながり、多くの大人に見守られながら学校生活を送ることは子どもたち、また保護者の方々の安心感にもつながっていくものと考えられます。また、子どもたちが日常の学校生活にはない地域交流ならではの経験を得ることができ、子どもたちの世界を広げることにもつながっていくものと考えられます。さらに、学校と地域の交流は子どもたちにとってのメリットだけでなく、交流そのものが地域住民にとって生涯学習の場になるなど、双方にとって有意義なものであると考えられます。

しかし一方で、子どもたちを巻き込んだ様々な事件・事故が全国的に頻発している状況を踏まえると、不特定多数の地域住民と無秩序に関わりを持つことはトラブルの要因にもなりかねません。

これらのことから、学校と地域が交流する上では、トラブルの発生防止、また発生してしまった場合の対策などを十分に検討・ルール化しながら、学校関係者及び地域住民双方にとってのメリットを最大化できるよう検討を進めていく必要があります。

### ポイント

- ◎ 学校・家庭・地域が連携協力して子どもたちを見守る環境を！
- ◎ 子どもたちに地域交流ならではの経験を！
- ◎ 防犯の観点からルール等の整備もしっかりと！

## 2. 地域交流の事例について

学校と地域が交流する場として、年に一度開催されるようなイベントとしては体育大会、文化祭、職業体験などが、日常的に行われている活動としては授業や部活動などが想定されます。

また、これらの活動以外にも学校と地域が交流を深めていく活動・機会は多くあると思いますので、以下の事例を参考にしながら、積極的なご提案・ご検討をよろしくお願いいたします。

※以下の内容は、各団体HP記事等から引用・要約しています。

### (事例1) 横浜市泉区：「地域全員で次世代を育てる」

横浜市泉区では「小・中学生との交流グラウンドゴルフ大会」を開催するなど、積極的な地域交流がなされています。そのなかで、交流の場をつくるに当たっては「動員ではなく、自然に参加できるように」ということを心がけているとのこと。具体的な取組は下記の5点です。

#### 1. 小学校の芝桜植え

地区で取り組んでいる「みどりと花事業」の一環で、小学校外周に芝桜を植える取組を行っており、地域の方々と共に児童にも参加を呼びかけている。

#### 2. 地域と小・中学生の交流グラウンドゴルフ

年2回、地域と小・中学生の交流グラウンドゴルフを実施。ゲーム終了後、お汁粉と焼きそばを食べながら「どんな地区にしたいのか」意見交換している。

#### 3. 近隣公園及び中学校周辺の清掃

7月・12月・3月の3回、地域の方々と中学生との協働による環境整備事業。毎回多数の中学生が参加している。

4. 体育祭（上牧町では町民体育大会）に競技役員として参加

10月に実施している地区連合の体育祭に、競技役員として50名前後の中学生が参加している。

5. 地域福祉保健計画推進会議への参加

毎年2月に開催する会議に先生と一緒に中学生にも参加を呼びかけている。「どんな地区にしたいか」大人と一緒に意見交換し、最後にグループ代表として発表をする。

### ポイント

- ◎ あくまで呼びかけであり、参加を強制していない！
- ◎ 地域のことに関する意見交換の機会をつくっている！

#### （事例2）山口県長門市：「学校から地域へ支援の要請」

---

長門市では、小・中学校における総合的な学習の時間や社会科、音楽科、家庭科、体育科などで、地域の専門家や先輩を講師として招き、学校との良い関係ができていくなかで、次第に学校側からの支援要請が増えていったとのこと。

また、この取組による副産物として、教員の授業に対する姿勢や意気込みも強くなっていったとのこと。

### ポイント

- ◎ 地域の専門家など、地域資源を上手に活用している！
- ◎ 支援要請を通して学校と地域の信頼関係が築けている！

### (事例3)：群馬県前橋市「地域寺子屋事業」

---

前橋市では、地域の公民館等で中学生の自主学習を支援し、生徒の学力向上はもとより、主体性や社会性を育むことを目的として「地域寺子屋事業」を平成28年度から行っているとのこと。

運営としては、学校がある日の17時～20時を基本としており、地域の教員OBや大学生などがサポーターとして協力し、分からないところは質問できるとのこと。

※ 上牧町では、小学校低学年（1から3年生）を対象に放課後学習塾としての「まきっ子塾」を毎週水曜日に開催しています。前橋市の事例は、実施場所が公民館等（「まきっ子塾」は各小学校）であり、対象者も中学生と違いはあるものの、目的としては類似する部分があります。

#### ポイント

- ◎ 地域との交流が学力向上に直接つながることが期待できる！
- ◎ サポーターの協力によって質の高い自主学習環境を提供し、経済的事情等で塾へ通うことが難しい生徒の受け皿となる！